

新潟大学×出雲崎町 令和5年度トリトンプロジェクト



新潟県立出雲崎高等学校 実施報告書



新潟大学大学院
現代社会文化研究科 博士前期課程
樺澤茉宝

新潟大学
人文社会科学系
准教授 村山敏夫

YOUTUBE
LIVE

講師紹介

出雲崎町 × 新潟大学



新潟大学准教授
村山敏夫



新潟医療福祉大学助教
亀岡雅紀



新潟大学大学院
山崎幸歩



新潟大学大学院
栗原裕佳



新潟大学大学院
西田唯人

YouTube
LIVE配信は
こちらからご覧ください！



講義日程 13:30 - 15:20 (10分休憩あり)

- 7月14日【2学年】西田唯人 | 視覚の不思議を体験する 『考え抜く力』
- 10月18日【3学年】栗原裕佳 | 宇宙ロケットを作る 『チームで働く力』
- 11月17日【2学年】亀岡雅紀 | 一度きりの人生を“面白く”歩む 『自己決定力』
- 12月 1日【3学年】村山敏夫 | 大学の先生が教える 『正しく伝える力』
- 12月15日【1学年】村山敏夫 | 高校生の皆さんへ伝えたい 『前に踏み出す力』
- 1月19日【1学年】山崎幸歩 | 救急救命の実体験から学ぶ 『行動力と実行力』

お問い合わせ

出雲崎町役場総務課

開庁時間：平日 8:30 - 17:15

Tel : 0258 - 78 - 2290

〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140

担当

樺澤茉宝

(新潟大学大学院)



新潟大学村山研究室 × 出雲崎

出雲崎 高等学校 ブランチャキャンパス

いつもと 同じ場所で
いつもと 違う学びの経験

出雲崎高等学校ランチキャンパス



新潟県立出雲崎高等学校



出雲崎町



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

生徒一人一人の学びと自立を支援する学校

知・得・体の調和がとれた「生きる力」の育成



人生100年
時代の
社会人
基礎力



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



プロジェクト担当者

樺澤茉宝(かばさわ まほ)

所属：新潟大学大学院現代社会文化研究科

博士前期課程2年

村山研究室

研究：**STEAM教育**、発育発達、数学教育

ライフイノベーションと地域デザインを学ぶ研究室で

SDGs目標達成に向けた社会実装に挑戦します

教育の
仕組み構築

地域と大学
連携教育

大学教育
の体験

総合的な学習
の時間の充実

大学生との
交流

大学のイメージの具体化
学習意欲・大学進学意欲向上
子どもたちの生きる力の育成



村山研究室HP



第1回目

講師：西田唯人（新潟大学大学院自然科学研究科）

テーマ：視覚の不思議を体験する『**考え抜く力**』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：7月14日（金）

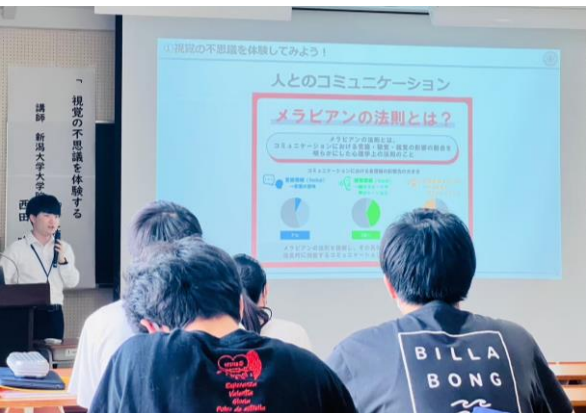
対象：2年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

考え抜く力

講義内容

5限では、講師の専門分野である視覚情報について身近な例えで分かりやすく伝え、視覚の不思議を体験する時間とした。さらに、計画の立て方のポイントや物事を筋道立てて考える方法についてアドバイスを行った。6限では、視覚の不思議を利用してグループで話し合いながら誰にでも見やすく分かりやすいポスターをデザインし発表を行った。





YouTube

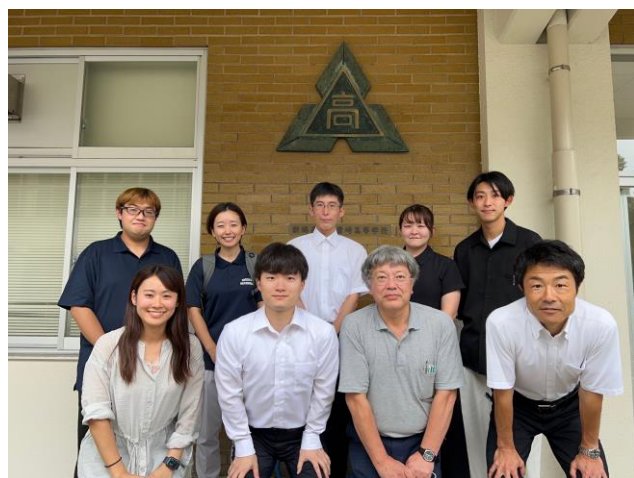


第1回目



グループワークの様子へ

← 集合写真



➤ 授業後に積極的に質問
をする生徒の姿

➤ 生徒の作成した高校紹介ポスター

▼ 講師を務めた西田唯人さん(新潟大学大学院自然科学研究科)



社 会人の基礎力を学ぶ トリトンプロジェクト・ブランチキャンパス

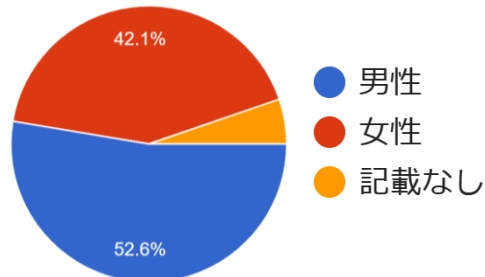
7月14日(金)に出雲崎高等学校でブランチキャンパスが行われました。今回のテーマは、経済産業省の掲げる社会人基礎力の一つである「考え抜く力」。受講した高校生たちは、視覚の不思議を体験しながら、物事の考え方や計画の立て方について学びを深めました。

19 広報いずもざき 2023.8

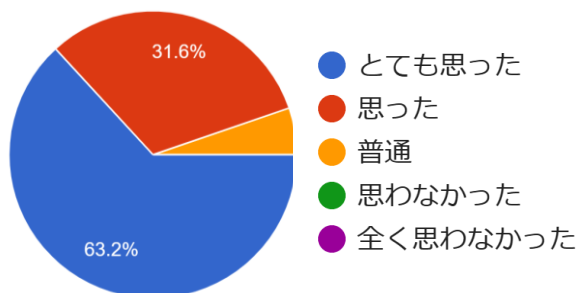
➤ 出雲崎町広報 (8月号)

ブランチャンプス①

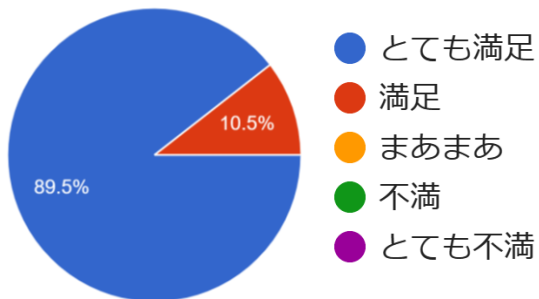
第2学年（19名）



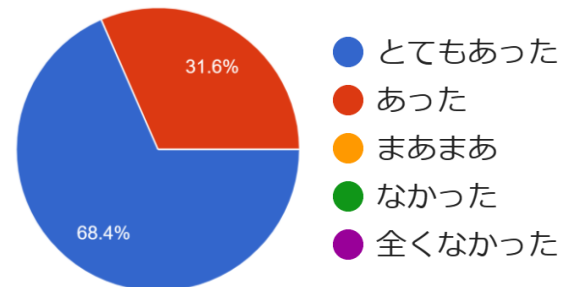
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思いませんか？



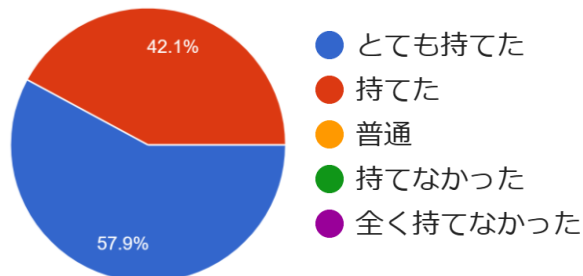
本日の講義はいかがでしたか？



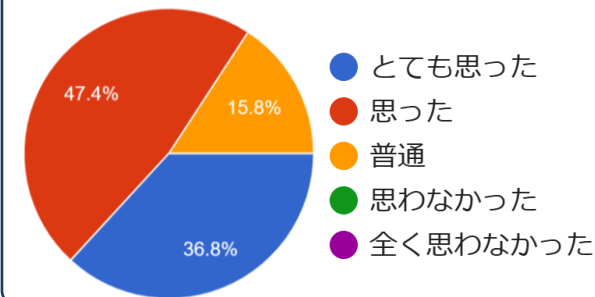
本日の講義の内容で新しい発見はありましたか？



本日の講義の内容に興味を持っていましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思いませんか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

- ・人の視覚が情報取得の約80%を占めるということにとっても驚きました。視覚の大切さを知ることができました。
- ・目の動きによって物の見え方が変化することや、視線が人とのコミュニケーションに関わることを学びました。
- ・みんなでポスターを作成するのが楽しかったです。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしかったなどの希望（一部抜粋）

- ・視覚についてのお話が面白かったので、もっと詳しく聞きたかったです。
- ・もっとお話を聞きたかったので時間を増やしてほしかったです。

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・今回学んだことをスポーツにも活かしてみたいと思いました。
- ・日々の生活の中で、意識的にポスターを見たり、人とコミュニケーションをとってみたいと思いました。

第2回目

講師：栗原裕佳（新潟大学大学院自然科学研究科）

テーマ：宇宙ロケットを作る『チームで働く力』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：10月18日（水）

対象：3・4年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

チームで
働く力

内容

5限では、講師の所属する新潟大学CanSatプロジェクト（NiCs）での小型の模擬衛星探査機開発の経験を踏まえた宇宙開発について学びを深める時間とした。また、NASAゲームを行い、役割分担のポイントなどのスキルを身に付けられるグループ活動を行った。6限では、体育館で紙飛行機を飛ばす実験を行った。グループのメンバーの全員が指1本ずつを使って紙飛行機を作成し、可能な限り遠くに飛ばす方法について話し合った。





グループワーク



▼講師を務めた栗原裕佳さん(新潟大学大学院自然科学研究科)



第2回目

集合写真



熱中する生徒の様子へ

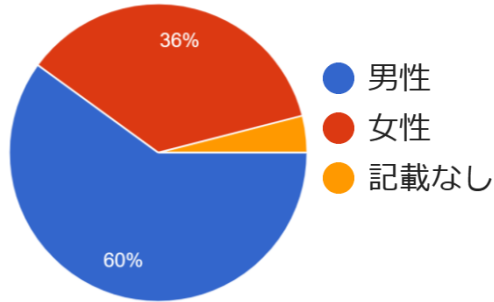
チームワークの重要性を学ぶ トリトンプロジェクト・ブランチキャンパス

10月18日(水)に出雲崎高校で、ブランチキャンパスが行われました。今回のテーマは経済産業省の掲げる社会人基礎力の一つである「チームで働く力」。受講した高校生たちは、宇宙開発について学びながら、チームで協力をして紙飛行機を作成しミッションに取り組みました。

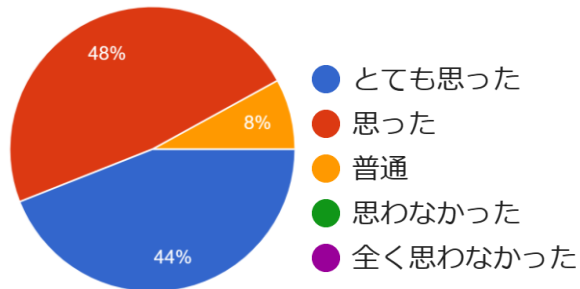
➤出雲崎町広報(11月号)

ブランチャンプス②

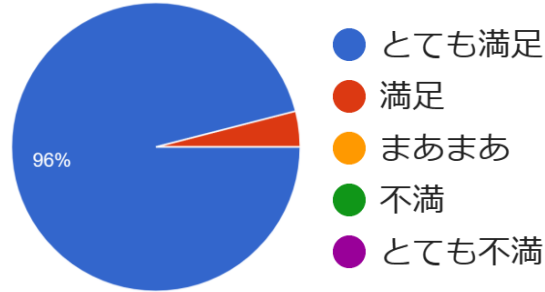
第3学年（25名）



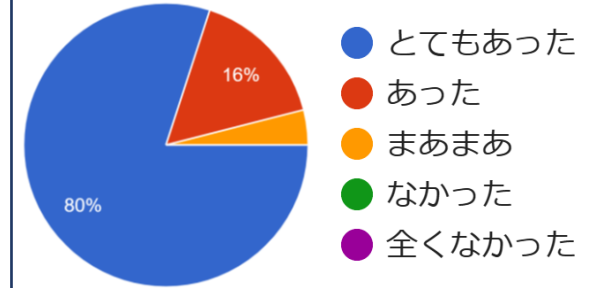
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思いませんか？



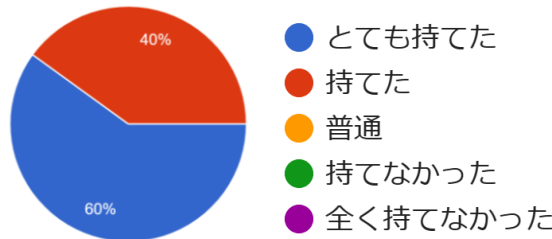
本日の講義はいかがでしたか？



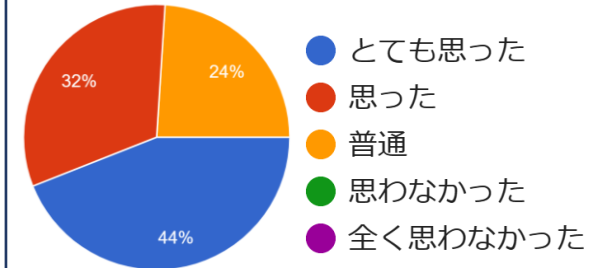
本日の講義の内容で新しい発見がありましたか？



本日の講義の内容に興味を持てましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思いませんか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

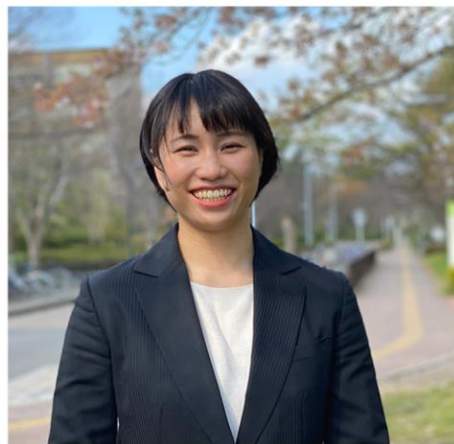
- ・ 宇宙に持って行く物ランキングを考えたときに、答えが意外な物で驚きました。
- ・ 日本の石が小惑星探査機の鍵となったこと、ボイジャーの名前の由来が「旅人」であることが印象深いです。
- ・ 1人で作るよりもみんなで紙飛行機を作成する方が達成感があって楽しかったです。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしかったなどの希望（一部抜粋）

- ・ 惑星がどうやってできるのかなど宇宙について、もっと詳しくお話を聞きたかったです。
- ・ スライドをもっとたくさん見たかったです。

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・ 宇宙に興味があるので自分でもっと調べたり勉強してみたりしたいと思いました。
- ・ 人と協力することはとても重要であると感じたので、これからは周りの人と協力していきたいと思いました。



第3回目

講師：亀岡雅紀（新潟医療福祉大学助教）

テーマ：一度きりの人生を“面白く”歩む『自己決定力』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：11月17日（金）

対象：2年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

自己
決定力

内容

5限では、講師自身の進路選択のきっかけや当時の思いなどを聞きながら、マインドマップを作成し自分自身とじっくり向き合う時間とした。6限では、グループで話し合いながら、マインドマップに書いた自分の「悪いところ」を「良いところ」に言い換え、何かを決めるときの考え方のヒントを得る活動を行った。





第3回目



↑マインドマップ作成の様子

↑Googleフォームを活用した活動

集合写真✓

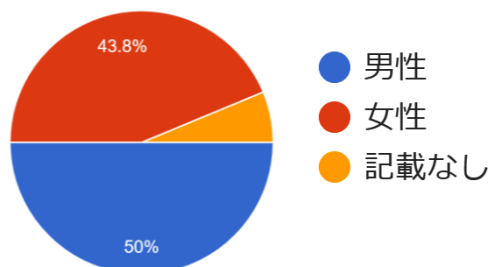


↓グループワークの様子

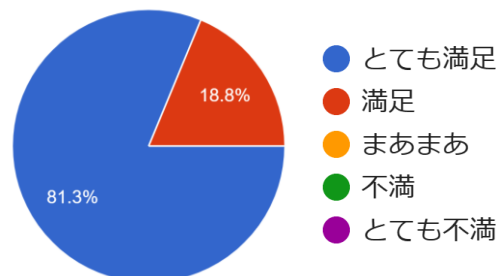


ブランチャンプス③

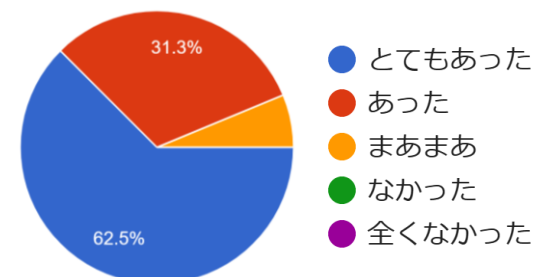
第2学年（16名）



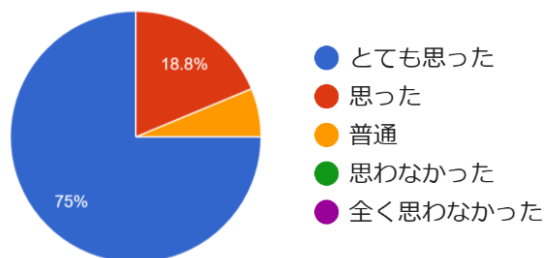
本日の講義はいかがでしたか？



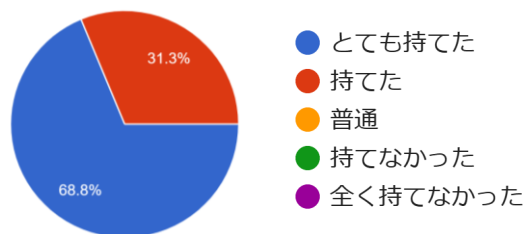
本日の講義の内容で新しい発見はありましたか？



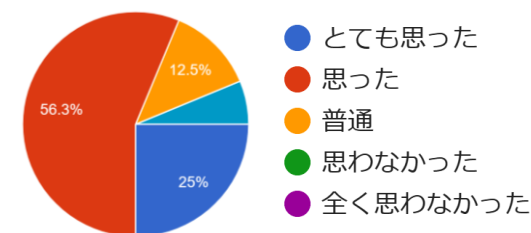
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思いましたか？



本日の講義の内容に興味を持っていましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思いましたか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

- ・ 考え方次第で悪い部分は良い部分に変えることができるのを学んだので短所は長所にできると思いました。
- ・ 自分にはまだまだ能力があるのではないかなと思うことができました。
- ・ 「一期一会」だけでなく「一期他会」でいろいろな人との関係を大切にしたいと思いました。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしかったなどの希望なし

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・ マインドマップを作成する活動のときのように、ポジティブに生きていきたいと思いました。
- ・ 進路を決めるときに、やりたいことを1つにだけに絞ろうとせずに複数で考えるようにしたいと思いました。
- ・ もっと視野を広げて自分から新しいことにチャレンジしてみようと思いました。



第4回目

講師：村山敏夫（新潟大学准教授）

テーマ：大学の先生が教える『正しく伝える力』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：12月1日（金）

対象：3・4年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

正しく
伝える力

内容

5限では、聞き手側の気持ちになって振る舞い方を工夫することで、話し手側も伝えやすくなることを学ぶ時間とした。6限では、グループでの活動を通して相手に適切に伝えるポイントをおさえ、最終的に全体で1つのお題について議論し合う活動を行った。





第4回目



↗ 発言する生徒の様子



↖ 伝えたいことを相手に適切に伝える活動



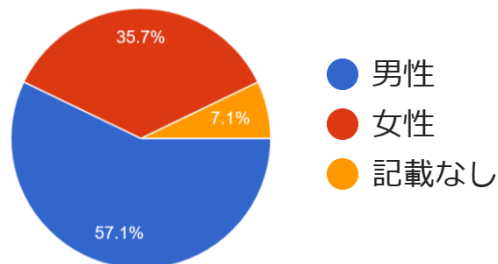
↘ お互いの発表に
拍手をし合ったり
頷き合ったりする活動



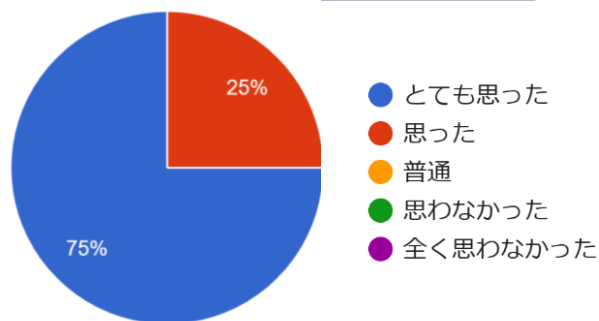
↖ 集合写真

ブランチャンプス④

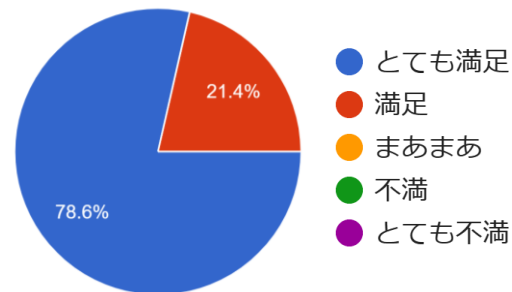
第3学年（28名）



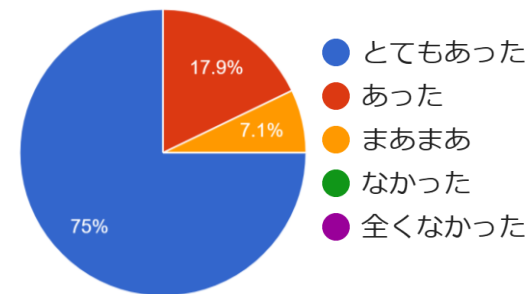
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思えましたか？



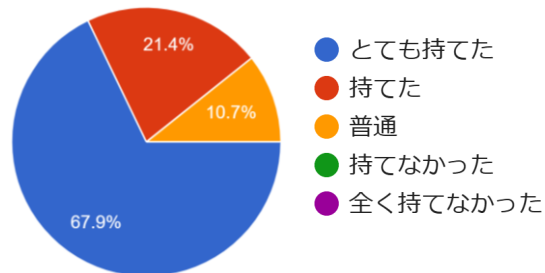
本日の講義はいかがでしたか？



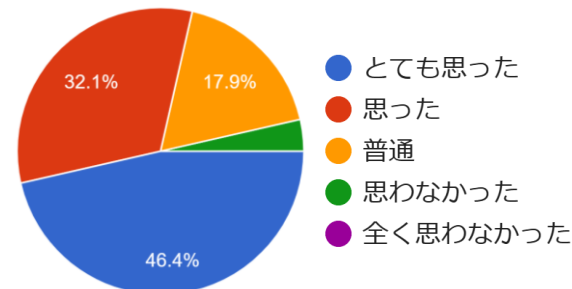
本日の講義の内容で新しい発見はありましたか？



本日の講義の内容に興味を持てましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思えましたか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

- ・自分の意見を大切に、それを誰かに伝えられるようになりたいと思いました。
- ・村山先生の話し方が魅力的で、自然にもっと聞きたいと思いました。
- ・相手を受け入れるために拍手をしたり頷いたりすると、発表をする人も話しやすくなることを学びました。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしかったなどの希望

- ・もっと難易度の高いグループワークにチャレンジしてみたいと思いました。
- ・オランウータン効果についてもっと知りたいと思いました。

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・これから海外などに旅に出てみたいと思いました。
- ・自分の考えを伝えることはすぐにできるようになるかは分からないので少しずつ習慣にしていきたいです。

第5回目

講師：村山敏夫（新潟大学准教授）

テーマ：高校生の皆さんへ伝えたい『前に踏み出す力』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：12月15日（金）

対象：1年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

前に
踏み出す力

内容

5限では、行為主体感やSDGsマインドといった一歩前に踏み出すための考え方を学ぶ時間とした。さらに、スポーツ選手の代表的な名言の意味を考え、大学生を交えたグループで自分の意見を伝え合う活動を行った。6限では、生徒がグループで話し合いながら自ら名言を考案し、活動をする中で前に踏み出す力を身に付けた。





第5回目



↗ 発言する生徒の様子



↗ 村山敏夫准教授の
講義を聞きながら
一生懸命にノート
に記録する生徒の
様子



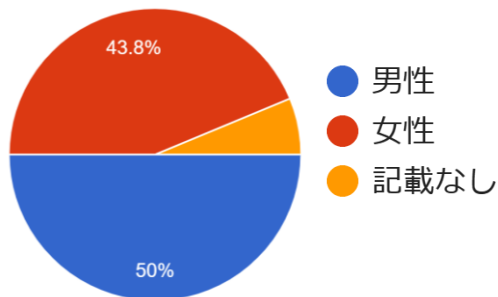
↖ グループワークで
仲良くなった先輩と



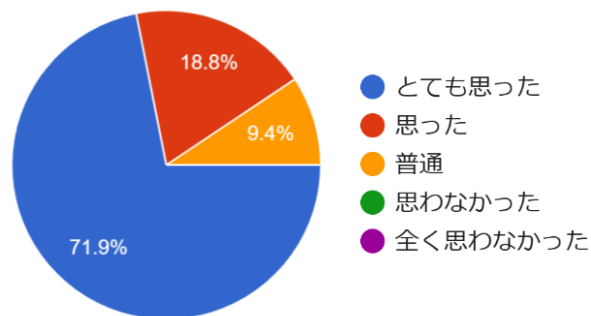
↖ 集合写真

ブランチャンプス⑤

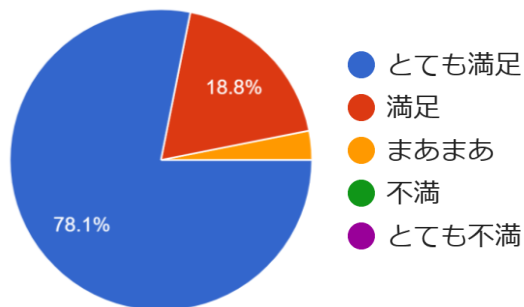
第1学年（32名）



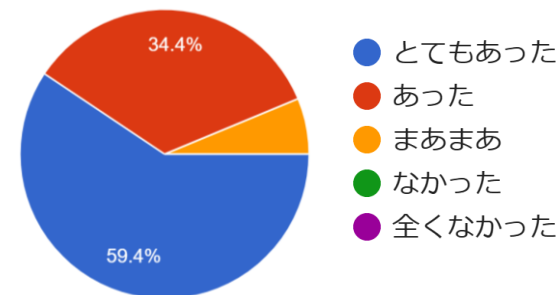
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思いましたか？



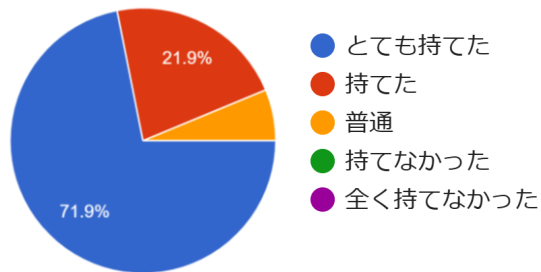
本日の講義はいかがでしたか？



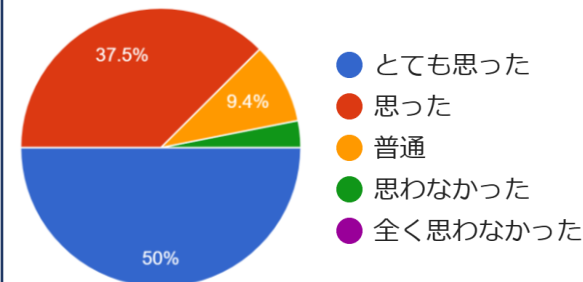
本日の講義の内容で新しい発見がありましたか？



本日の講義の内容に興味を持っていましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思いましたか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

- ・ 人生は何が起きるか分からないので、夢はもしかしたら叶うかもしれないと気付かされました。
- ・ みんなで話す中で自分の考えを言わずに黙ってるよりも、自分から意見を言っていきたいと思いました。
- ・ 一歩踏み出すことを恐れていましたが、今後少しでも前に進みたいと思いました。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしいなどの希望

- ・ スポーツ選手の名言をもっと聞きたいと思いました。
- ・ グループの人数が多く、話す時間が少なかったのもっと時間が欲しいと思いました。

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・ 自分の意見を自分なりに言えるように、友達や先生と話してみたいと思いました。
- ・ いつも諦めていたことを、諦めずに取り組んでみようと思いました。



第6回目

講師：山崎幸歩（新潟大学大学院現代社会文化研究科）

テーマ：救急救命の実体験から学ぶ『行動力と実行力』

内容：講義（5限）、実技（6限）

日程：1月19日（金）

対象：1年次

形式：対面（YouTubeライブ配信）

行動力
実行力

内容

5限では、講師の一次救命処置の体験談から、何事も自分ごとに捉える行動力と実行力について意義を学ぶ時間とした。また、「桃太郎一行をつくろう！」により、自ら主体感を持ってグループづくりを行う活動を行った。6限では、生徒がマンダラチャートの作成に取り組み、目標を達成するために取り組むべき内容を整理した。





第5回目



↗講師のアドバイスを聞きながら
考えを深める生徒の様子



↗発言する生徒の様子



↗桃太郎一行をつくる活動
で使用したカード

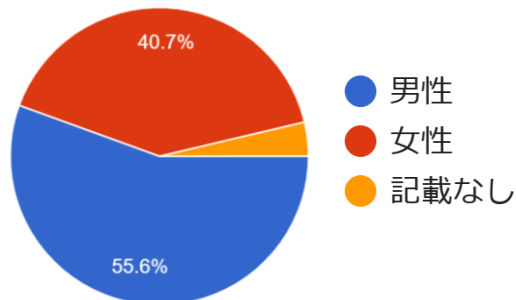


↖集合写真

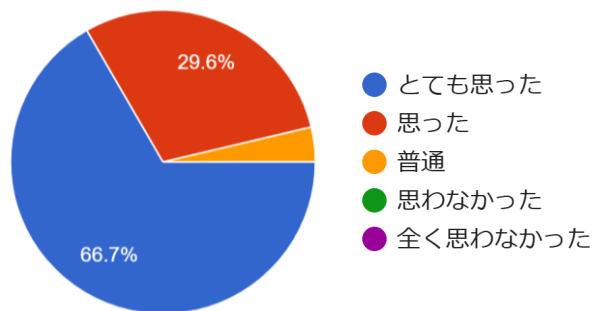


ブランキャンパス⑥

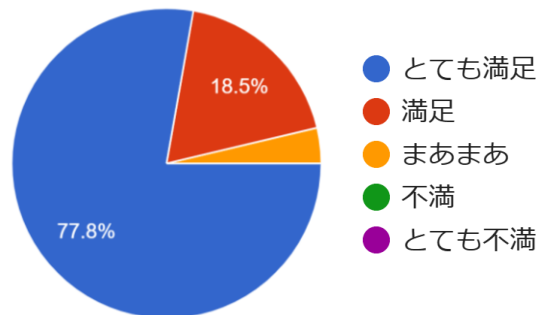
第1学年（27名）



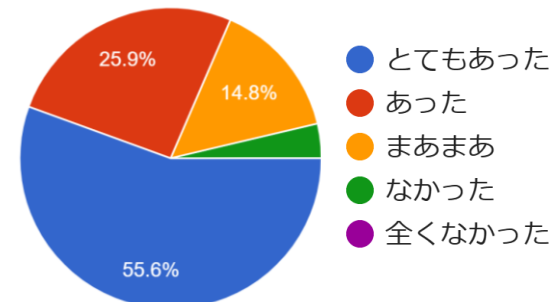
本日の講義はあなたの今後の人生に役に立つと思いましたか？



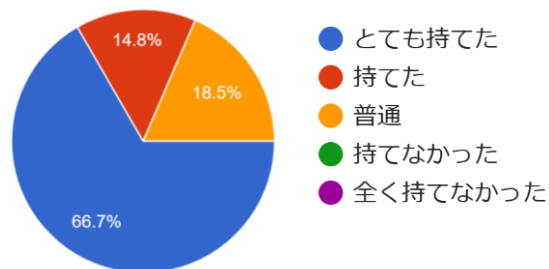
本日の講義はいかがでしたか？



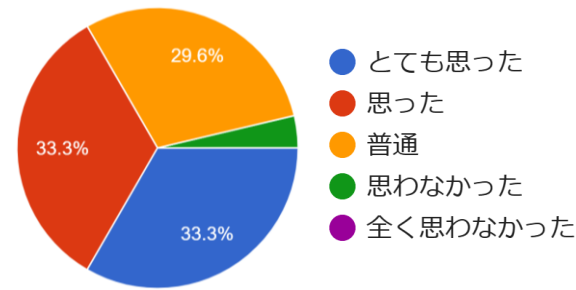
本日の講義の内容で新しい発見はありましたか？



本日の講義の内容に興味を持てましたか？



本日の講義の関連知識を自分でもっと調べたり聞いてみたいと思いましたか？



■ 講義で印象に残ったこと、勉強になったこと（一部抜粋）

- ・ マラソンのお話などを聞いて、自分の将来について少し道が見えた気がしました。
- ・ 桃太郎カードでグループ分けをする際、自分からグループを作りに行くという「行動力」を感じました。
- ・ 自分の人生について新しい歩みに目標を持って、前向きに頑張ろうという気持ちになることができました。

■ 講義の中でもっと聞いてみたかったこと、もっとこうしてほしかったなどの希望

- ・ マンダラチャートの作成が難しかったのでもっと学びたいです。

■ 講義で学んだことを活かして、これから取り組んでいきたいこと（一部抜粋）

- ・ 新しいことに挑戦してみようと思いました。
- ・ 自分には行動力がないので日頃から少しでも誰かに話しかけてみようと思いました。
- ・ 夢に向き合い、考えるだけでなく行動をして結果を出せるように頑張りたいです。



おもいやりライトアクション

担当：樺澤茉宝（新潟大学大学院現代社会文化研究科）

テーマ：出雲崎町の交通環境について学ぶ

内容：おもいやりライトアクションパネルデザイン

日程：11月10日（金）

内容

交通安全に対する想いや出雲崎町の特徴を取り入れた出雲崎町で代々受け継がれるおもいやりライトアクションパネルをデザインした。学校の壁を越えた大学生、高校生、中学生の交流という初の試みも達成した。



おもいやりライトアクション
出雲崎町で代々受け継がれる特別な
おもいやりライトパネルデザイン



出雲崎での活動で
毎回使用するパネル
みんなの想いが
込められているパネル
世界に1つの
オリジナルパネル



おもいやりライトアクション

おもいやりライトアクションとは...
夕暮れ時のヘッドライト早期点灯を
ドライバーに呼びかけて交通事故を削減する運動
交通事故が1番多い時間帯は16時～18時
一緒に交通安全を呼びかけませんか？

【スケジュール】

日程：2023年11月10日（金）

時間：16時00分～16時30分

場所：川西交差点（16時までに集合）

持ち物：「交通事故を減らすぞ！」という想い

.....ご参加いただける方は11月8日（水）までに下記にご連絡ください.....

お問い合わせ

出雲崎町役場総務課 開庁時間：平日 8:30～17:15

Tel：0258-78-2290

〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140

担当

樺澤茉宝

（新潟大学大学院）



集合写真

開会式の様子

出雲崎町広報 (12月号)

▼どのように書けば点灯してもらえるかを考えながら作りました



パネルにおもい込めて おもいやりライトアクション

11月10日(金)に「トリトンプロジェクト」の一環として、出雲崎高校でおもいやりライトアクションが行われました。新潟大学・出雲崎高校・新潟県警・町交通安全協会に加え、今回は出雲崎中学校も参加してドライバーに早めのライト点灯を呼びかけるためのパネルを制作しました。

2023.12 広報いずもざき 20



通行ドライバーにライト点灯を呼びかけるパネルを製作する出雲崎高校生徒ら11月10日 同校体育館



柏崎日報 (11月15日朝刊)

新潟県警察の方からのご指導

早めのライト
パネルに込め
出雲崎高生ら
産学官連携



「いい点灯の日」(11月10日)に合わせ、出雲崎町の産学官連携「トリトンプロジェクト」の一つ「おもいやりライトアクション」が10日に行われた。雨天のため例年行っている沿道での活動は中止され、代わって、ライト点灯を呼び掛けるパネル作りに取り組んだ。

この活動は、交通事故が多発する日没時間帯の早めのヘッドライト点灯を呼び掛けよう、日産自動車を主体に2010年に始動。その後全国に広がり、同町は町交通安全協会、県警、新潟大が協力して18年から参加。20年の同プロジェクト発足で出雲崎高が加わり、同校PTAや今年は出雲崎中3年生へと輪が拡大。活動4年目の今年は、

過去最多の60人以上が参加した。

参加者は出雲崎高体育館で、オリジナルパネル作りアイデアを出し合った。「みんなのためにライト点灯」(つけちゃえライト)などに、紙風船の絵やメッセージも添えた。高3の相場皓太君は「今年はドライバーにアピールできなかったけど、中学生や大学生とみんなで協力して活動できた達成感が良かった」、同・早川輝空君は「暗い中、接近して来る車は気づきにくい。早めにライトを付けてほしい、自分も免許を取得したら徹底したい」と誓った。

活動の中心を担う新潟大大学院2年の樺澤実宝さんは「交通安全を通じ、世代間交流もテーマ。来年はみんなでこのパネルを掲げ、さらに活動を盛り上げていきたい」と話した。